

アグリ・フードサポート

prize 輝く経営大賞2009

feature 第2回 アグリフードEXPO 2009 大阪

management strategy 株式会社 にいみ農園



資金繰りでお困りの中小企業・農林漁業のみなさまを積極的に応援します！

日本政策金融公庫のセーフティネット貸付



詳しくは、下記フリーコール又は日本公庫支店
農林水産事業までお気軽にお問合せください。

フリーコール

0120-926478

3月末まで

平日9:00～19:00

土日・祝祭日9:00～17:00

ホームページ

<http://www.jfc.go.jp/>

日本政策金融公庫の略称が「日本公庫」に変わりました。

(2009年1月 日本政策金融公庫セーフティネット貸付ポスターより)

CONTENTS

輝く経営大賞2009

アグリフードEXPO2009大阪

アグリフードEXPO2009東京

アンケート結果

経営戦略

技術の窓

融資制度のご案内

定期相談窓口

公庫本支店窓口一覧

「輝く経営大賞（西日本エリア）」決定	3
第2回「アグリフードEXPO2009大阪」開催報告	6
第4回「アグリフードEXPO2009」開催のお知らせ	8
日本政策金融公庫農林水産事業 サービス向上のためのアンケート結果	9
株式会社 にいみ農園 新美康弘さん	10
最新技術情報のご案内	13
新たな無利子制度の創設	14
農林漁業セーフティネット資金	15
スーパーし資金	17
定期相談窓口を開催中	18
	20

●表紙写真 撮影者 松江支店農林水産事業 前原 美誉

輝く経営大賞 2009

西日本エリア受賞者

農林漁業、食品産業の担い手としてふさわしい経営者を表彰する「輝く経営大賞2009」。今号では5名の方々をご紹介します。

※今年度から環境に配慮した取り組みの優れている経営体を対象とする「環境部門賞」を設立しました。

■ 環境部門賞

(西日本エリア)

有限会社 ^{み さら えん} 三皿園 (愛媛県今治市)

■ 経営部門賞 <大賞>

(中部ブロック)

株式会社 ^{うたごうぼう} みつばちの詩工房 (石川県金沢市)

(関西ブロック)

有限会社 ^{そ お} アグリケーション (滋賀県草津市)

(九州ブロック)

有限会社 ^{おおなり} 大成畜産 (鹿児島県曾於市)

■ 経営部門賞 <特別賞>

(九州ブロック)

福岡八女農業協同組合 (福岡県八女市)

■ 経営部門賞選定委員 (敬称略)

宮城大学事業構想学部 教授/宮城大学大学院 研究科長.....大泉 一貫
日本経済団体連合会 参与.....立花 宏
森税務会計事務所 税理士.....森 剛一
社団法人日本農業法人協会 副会長/有限会社 藤岡農産 代表取締役藤岡 茂憲
経済エッセイスト秋岡 榮子

■ 環境部門賞選定委員 (敬称略)

学習院女子大学 国際文化交流学部 教授莊林幹太郎
(独) 農業・食品産業技術総合研究機構
中央農業研究センター梅本 雅
日本政策金融公庫 常務取締役
農林水産事業本部 企画・統括部門長谷川 浩道

環境部門賞

(西日本エリア)



DATA

代表取締役 越智 章太郎
設立年月 昭和42年5月
資本金 3百万円
売上高 53百万円
事業内容 かんきつ生産・加工
経営規模 6.4ha

住 所

〒799-2205 愛媛県今治市大西町宮脇甲177
TEL 0898-53-2368 FAX 0898-53-2665
URL <http://misaraen.web.fc2.com/>

有限会社 ^{み さら えん} 三皿園

西日本エリア



おいしさと健康を追求し、有機の里の礎に

受賞のポイント(経営の特徴)



■ 農薬・化学肥料を使用せず、有用微生物の活用やヘアリーベッチ草生栽培による草管理など確かな技術により、6ha超の大規模果樹園での100%有機栽培を実現。人と樹、小動物や昆虫が共生する有機の里をめざす。

■ ジャム・マーマレード・ジュースなどの有機加工食品に取り組

み、新たな事業展開。生産から加工までを手がけることで独自性を高めるとともに、有機栽培によるリスクを低減。

■ 新規就農希望者の研修を受け入れ、独立支援。地元のEM研究会を立ち上げるなど、有機農業の普及に尽力。



経営部門賞 大賞

(中部ブロック)



DATA

代表取締役……………矢野 浩
設立年月……………昭和56年1月
資本金……………20百万円
売上高……………650百万円
事業内容……………養蜂・蜂蜜加工
経営規模……………150群(900万匹)

住 所

〒920-1145 石川県金沢市浅川町ホ80
TEL 076-229-0088 FAX 076-229-3377
URL <http://www.8383.co.jp/>

株式会社 みつばちの詩工房

うた こう ぼう

中部ブロック



石川県金沢市

蜜蜂を通じて地域農業の発展に貢献

受賞のポイント(経営の特徴)



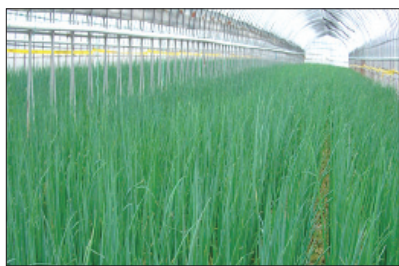
- 昭和5年から養蜂業を開始し、79年の蜂蜜採取の実績を有する。
- 蜜蜂による受粉で、周辺果樹など農家の農産物の品質や収量の向上、受粉作業の省力化に貢献。
- 周辺果樹農家から花梨などの農産物を仕入れて蜂蜜の加工品製造に利用しており、農家と相互補完の関係を築いている。

- 地元の養護学校や小学校などに蜂蜜採取の実演に出向き、食育活動を積極的に実施。
- 高まる需要に応じることができるよう加工場の拡張移転に公庫資金を利用し、業績を伸ばす。



経営部門賞 大賞

(関西ブロック)



DATA

代表取締役……………中島 富治一
設立年月……………平成9年6月
資本金……………10百万円
売上高……………200百万円(H21/3見込)
事業内容……………施設野菜(ネギ)・カットネギ製造
経営規模(施設面積)……………30,000㎡

住 所

〒525-0061 滋賀県草津市北山田町791
TEL 077-567-1717 FAX 077-567-1780
URL <http://www.agrication.com/>

有限会社 アグリケーション

関西ブロック



滋賀県草津市

安全・安心への取り組み

受賞のポイント(経営の特徴)



- 平成9年に他産業から農業に参入。参入に当たり、ハウスの建設に公庫資金を利用。
- 完熟堆肥と自家製有機肥料により土づくりにこだわり、この土で生産した九条ネギを「養土育(商標登録)」として販売。また、出荷工程で生じた残菜を堆肥化し、循環型農業を実践。
- 周年出荷をするほか、公庫資金を利用してカットネギの製造施設を導入し、新規事業により業績を伸ばしている。
- 社内に新規就農者を支援する独自の制度を設け、意欲ある就農者に生産技術や農業経営について指導。



経営部門賞 大賞

(九州ブロック)



DATA

代表取締役……………大成 理一
 設立年月……………昭和61年6月
 資本金……………3百万円
 売上高……………1,249百万円
 事業内容……………養豚(一貫)・精肉店・レストラン
 経営規模……………母豚1,650頭

住 所

〒899-8421 鹿児島県曾於市大隈町大谷5066-6
 TEL 0994-82-4338 FAX 0994-82-0375
 URL <http://www.oonari-chikusan.com/>

 おお なり
 有限会社 大成畜産

品質の追求と大規模経営により
 黒豚の産地形成に貢献

九州ブロック

鹿児島県曾於市

受賞のポイント(経営の特徴)



- 公庫資金を利用して段階的に黒豚生産の経営規模を拡大。大規模経営により黒豚の産地形成に貢献。
- 精肉店とレストランを設け、安心・安全などにこだわった黒豚の魅力を生産者の立場から広く伝えている。
- 新品種の生産や独自の自家配合飼料により食味のよい肉質を追求し、2007年には銘柄食肉好感度コンテストで最優秀賞を受賞。

■ 焼酎かすや芋くずなどの食品残渣の利用に積極的に取り組み、平成19年にはリキッドフィーディング(液状飼料)に対応した畜舎を公庫資金を利用して建設。

■ 地元の「弥五郎どん祭」をPRするため「やごろう豚」のブランド確立に向け取り組み中。



経営部門賞 特別賞

(九州ブロック)



DATA

代表理事組合長……………松延 利博
 設立年月……………平成8年4月
 組合員数……………25,893人
 職員数……………1,313人
 農産物販売高……………257億円
 主要生産物……………イチゴ・八女茶・キウ・ブドウ・ミカン

住 所

〒834-0063 福岡県八女市本村420-1
 TEL 0943-23-1155代
 URL <http://www.wing8.com/jafyame/>

 や め
 福岡八女農業協同組合

地域農業発展に公庫と連携して貢献

九州ブロック

福岡県八女市

受賞のポイント(経営の特徴)

- 地元の農業改良普及センターと連携して公庫資金の相談窓口を設置し、円滑な公庫資金の供給に尽力。スーパーL資金(担い手農業者向け資金)の取り扱いは毎年県下で最も多い。
- 公庫資金のご利用先が研修会や情報交換を行う「筑後地域公庫資金友の会」の事務局を平成20年度から引き受け、県南地域の農業者の活動を支援。
- 公庫主催のアグリフードEXPOに生産者が出展する際の手続を支援。



「農と食」の展示商談会 第2回アグリフード EXPO2009 大阪

全国のプロ農業者が育んだ魅力ある農産物、地元産品を活用したこだわりの加工食品を、バイヤーの皆さまに広くご紹介する展示商談会。

大阪での開催は昨年に続き2回目。今年は水産物の展示商談会である「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」（社団法人大日本水産会主催）と同時開催いたしました。

出展者数は昨年の1.4倍近い225先、来場者数は昨年の2.8倍近い9,047名を迎えました。活発な商談・交流風景をご紹介します。



上：「食」への関心が高い大阪。予想を超える来場者

下：大阪・道頓堀の「大阪名物くいだおれ」の看板人形として活躍していた「くいだおれ太郎」さんがゲストとして来場されました



左上：消費者・飲食店が農業経営者に求めるもの等のテーマでセミナーを同時開催しました

左下：各ブース也大盛況で活発な商談が行われました

右上：会場内で「輝く経営大賞」表彰式を行いました

右下：シーフードショーとはじめての同時開催。多数のご来場者で活況を呈した会場



左上：43社のマスコミ関係者から取材を受けました

左中：まずは名刺交換

左下・中央：試食を通じて自慢の味を伝える出展者

右上：はじめて商談会に出展される農業者のための、「農業者のチャレンジコーナー」。

積極的にバイヤーに声をかける出展者が目立ちました

右中：自慢の商品をPR

右下：商談コーナーでは、早速に商談がはじまる出展者もいらっしゃいました



開催概要

■ 名 称	第2回「アグリフード EXPO2009 大阪」～プロ農業者たちの国産農産物・展示商談会～
■ 会 期	2009年2月4日(水) 10:00～17:00 5日(木) 10:00～16:00
■ 会 場	アジア太平洋トレードセンター ATCホール
■ 出展者数	225社、191小間
■ 登録来場者数	9,047名(2月4日(水)…4,752名 2月5日(木)…4,295名)
■ 会期中商談件数	16,193件(1社平均／72件)
■ 商談引合件数	2,381件(1社平均／11件)
■ 商談引合額	238百万円

注1) 本集計は、出展者から提出いただいたアンケート結果に基づくもの。

注3) 商談引合件数：商談件数のうち、商談会終了後も継続して商談を行う予定の件数。

注2) 商談件数：商談目的で行われた名刺交換数。

注4) 商談引合額：出展者による見込み金額。

2009 年 「農と食が未来をつなぐ」

平成21年8月25日～26日、第4回「アグリフードEXPO 2009」を開催します。

全国からこだわりの国産農産物が集まる最大級の商談会として、注目を集めているアグリフードEXPO。年々来場者も増えています。

北海道から九州まで、全国からこだわりの農産物、加工食品が続々出展。

昨年度にも増して、活発な商談会になるでしょう。ご期待ください。



プロ農業者たちの
国産農産物・展示商談会

第4回

アグリフードEXPO 2009

8月25日(火)・26日(水) 東京ビッグサイト 西1ホール

10:00～17:00 (最終日は16:00閉場)

【主催】 **AFS** 日本政策金融公庫

【後援】 財務省・農林水産省・中小企業庁・全国知事会・全国市長会・全国町村会(申請予定)

【協賛】 (株)日本貿易振興機構・(株)農業・食品産業技術総合研究機構・(株)中小企業基盤整備機構・(株)日本農業法人協会・日本ブランド農業事業協同組合・日本農林水産者協議会・(株)日本農協協会・(株)日本農産物協会・日本農産物生産者協会・全国農業経営者協会・全国農業協同組合連合会・全国農業協同組合中央会・(財)食品産業センター・(財)日本フードサービス協会・日本スーパーマーケット協会・日本チェーンストア協会・(株)日本セレクトサービス協会・日本ハム・ソーセイジ工業協同組合・オール日本スーパーマーケット協会・(株)全国スーパーマーケット協会・農林中央金庫・(株)みずほ銀行・(株)三井住友銀行・(株)三菱東京UFJ銀行・アグリビズ投資育成(株)・全国消費生活者協議会・日本生活協同組合連合会・NPO法人日本アグリ産業総合支援機構・(株)日本農産物・沖縄農産物振興会(申請予定)

【事務局】 (株)日本政策金融公庫 農林水産事業本部総合支援部
「アグリフードEXPO」運営事務局/エグジビション テクノロジーズ 株式会社



いいしいいニッポンも
FOOD ACTION NETWORK 参加企業です。

AGRI FOOD EXPO 2009

みなさまのご意見・ご要望をありがとうございました！

日本政策金融公庫 農林水産事業 サービス向上のためのアンケート

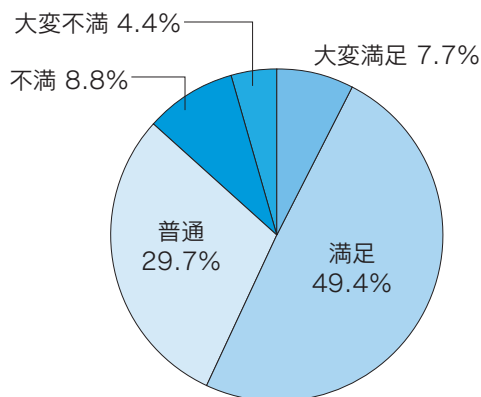
前回（2008年11月号）のアグリ・フードサポートに同封させていただいたアンケートに、みなさまから98通の貴重なご意見・ご要望をいただきました。

前々回（2008年8月号）からはじめたお客さまアンケートですが、これまでに、延べ556通のご回答をいただきました。ご回答をいただいたみなさま、誠にありがとうございました。

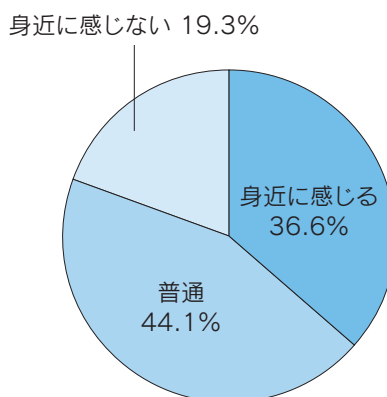
いただいたご意見・ご要望は、農林水産事業の今後のサービス改善・向上に生かしてまいります。引き続きお客さまとのよりよい信頼関係の構築に努めてまいります。

■ 2008年11月号同封アンケート集計（2009.1.9現在 回収数98）

日本公庫農林水産事業のサービスに
ご満足いただけていますか？



日本公庫農林水産事業を
「身近」に感じていただけていますか？



ご意見・ご要望（一部）

- 資金の内容や申込みの手続きを、もっとわかりやすくしてほしい。
- L資金の無利子化措置を、今後も継続してほしい。
- 農業経営者の成功事例などを多く取材してほしい。
- 技術面での情報も詳しく掲載してほしい。
- 県内にも支店ができたとのこと、今後はそちらを利用したい。
- ぜひアグリフードEXPOに行ってみたい。

これからも、農林水産事業では、みなさまからのご意見・ご要望をお待ちしております。

アンケートだけでなく、農林水産事業ホームページ（<http://www.afc.jfc.go.jp/>）の「農林水産事業へのご意見」欄、農林水産事業コールセンター（0120-926478）においても、ご意見・ご要望を承ります。そのほかご不明な点などがございましたらお気軽にご連絡ください。

農場生産工程を見える化

～ミニトマトで経営を拡大～



社長の新美康弘さんと妻で取締役のみどりさん

他産業並み所得めざし農業に挑戦

にいま農園が水耕栽培のミニトマト経営を始めて20年。今や経営規模を15倍にまで拡大した。その経営手法は生産工程を「見える化」すること、それによってコスト削減と人材育成を図る点にある。そして直接販売にも取り組み、みずから値決めをして商品をお客さまに届けている。

「農業で他産業並みの所得を達成することに挑戦してみよう」

にいま農園の新美康弘社長は、そう決意して就職の誘いを断り、千葉大学園芸学部を卒業後、すぐに実家の農業経営に飛び込んだ、という。

高所得を得るのだという夢とは裏腹に、当時注目されていたミニトマトの栽培に必死に取り組んだが、農協にミニトマトの部会がなく、出荷量も安定しないことから、市場で評価されない日々が続いた。

そこで、新美社長は、自分ひとりでもいいから、

株式会社 にいま農園

代表取締役 新美 康弘さん （愛知県・碧南市）

ミニトマトの規模拡大に挑んだにいま農園社長の新美康弘氏。農場の生産工程を見える化、従業員に生産管理も任せ、みどり取締役と2人3脚で直売にも取り組む。これまでのカイゼン活動の成果とこれからの人材育成への夢について語ってもらった。

まずは周年出荷して市場の信頼と評価を得ることが先決と、ミニトマトの水耕栽培と経営規模の拡大に舵を切った。

周年、商品を切らさないようにするには、ハウス内を区分けして生産時期をずらすこと、そしてハウス面積を徐々に1万5,000㎡にまで拡大して、販売に必要な量を確保することだと考え、必死に取り組んだ。現在は、ハウス内を12区画に分け、一区画を年間3回転させて周年出荷を行えるほどにまでなっている。

ここまで経営規模が大きくなると、家族経営ではやっていけなくなってくる。そこで、考えついたのが生産工程の「見える化」だ。

仕事の流れがわかるような多様ツール

新美社長は規模拡大を進めるかたわら、従業員だけでも生産工程を管理できるようにする仕組みづくりに取り組んだ。現在、ハウス内は、その日

の仕事のやり方・流れが一目でわかるようにするためのかんばん、作業指示票、作業管理票など多様なツールでいっぱいだ。

水耕栽培で最も重要な管理点のひとつになる施肥作業に関しては、従業員はミニトマトの葉の枚数と生産する月のマトリックス表をもとに必要な施肥量を確認し作業を行っている。

この表は、農場における長年に及ぶ栽培データから編み出されたものだ。新美社長は日々の気温、天候とミニトマトの生育状況を毎日記録し、データベース化している。

このデータベースをもとに、新美社長は葉の枚数と生産月を関連させた指示書を作成した。給水作業についても、これまでのデータに基づく季節、天候と生育状況のマトリックス表をもとに、従業員が給水量を確認し作業を行っている。

こういったデータベースの活用は肥培管理にとどまらない。従業員は作業内容と作業時間を毎日、作業日報や管理票に記録し、新美社長は毎日それをパソコン入力して作業時間を集計している。

ここで蓄積されたデータをもとに、たとえばコンテナ30個を収穫するために必要な作業量は8人で2.2時間と算出し、一日の作業日程や人員配置を行う。この目標時間内に作業が完了しなかった場合、従業員で話し合っ検証するというやり方をしている。

新美社長によると、こうしたカイゼン活動の積み重ねを通して生産性の向上が図られてきたとともに、中堅従業員が生産工程を管理できる仕組みが構築されてきた、という。

市場値崩れで直売方式に切替え

平成7～8年頃、韓国からのミニトマトの輸入が増加し、価格が下落した。自信のある商品が相

場によって値崩れをおこし採算悪化したのは新美社長にとって痛手だった。

これを契機に、新美社長は、自分で作ったものは自分で値決めして、責任をもって販売しようという決め、ハウスの隣接地に直売店をつくった。

現在は、妻のみどりさんを中心に直売店を切り盛りするが、直売店の営業時間は従業員の作業との兼ね合いも考慮し、9時から12時までと、16時から17時までの4時間のみ。

ただし、口コミで評判が広がり、現在では売上げの60%が直接販売となっている。このほか契約価格で食品スーパーに20%を直接販売し、実に売上げの80%は自分で値決めをして販売するまでにしている。



上：作業工程などについてミーティングを行う従業員
左下：施肥に関するマトリックス表（作業指示票）
右下：給水指示票

収穫量が減少してしまう冬場は、予約なしで来店されるお客さまがいるが、問題は、販売できるミニトマトがなくなってしまうことがあることだった。

そこで、お客さまの声に応じてミニトマト100%のフレッシュジュース、ジャム、ケチャップの加工品などを用意して品揃えを充実させている。

農業で夢を語れる人材を育てたい

新美社長は、農業という職業に就いて自立した経営を行うこと、ミニトマトの規模拡大を図ることなど目標に掲げ、自力でやり遂げてきた。問題はこれからだ。

新美社長は「これからは、経済成長が大きく見込める時代にはなく、お客さまから求められる量がみずからの適正な経営規模であると考えている。これからも、従業員と一緒に、お客さまが求める商品づくりに邁進したい」と語る。

そして、新美社長は「そのためには、従業員も自分が活躍していく上で必要な売上高、利益はいくら獲得することが必要かを経営者の感覚をもって、一緒に考えていける人材を育てたい。それが現在の目標である」という。

この目標の実現に向けて、新美社長は、生産工程の管理だけでなく、販売面でも食品関係のバイヤーと商談する機会を従業員に与え、商習慣を身に付けてもらいたいという目的を持っている。

そこで、にいみ農園は、2007年から日本政策金融公庫(旧 農林漁業金融公庫)主催のアグリフードEXPOに参加している。そのEXPOで全国から集まる農業者だけでなくバイヤーの人たちと交流し、どこに出しても物おじせずにやっていける農業者を育てることを大きな目標にしている、という。

(情報戦略部 小柳典義)



上：にいみ農園の連棟ハウス。ハウス内を12区画に分けて管理している。

下：ブロック別に分けられたハウス内部の作業指示のためのかんばんや作業を記録するための管理票がとりつてある。

DATA

株式会社 にいみ農園

代表取締役 新美康弘

設立 2005年1月

事業内容 ミニトマトの生産および販売

所在地 愛知県碧南市桃山町
2丁目34番地

TEL 0566-48-6394 FAX 0566-48-6503

年間売上高 約1億円

従業員 3名、パート15名

「技術の窓」農業各分野の最新技術情報を提供しています！

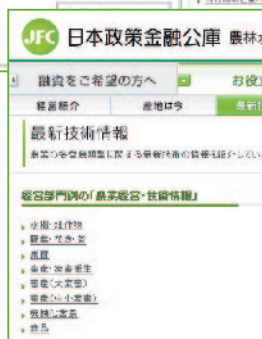
日本政策金融公庫農林水産事業では、「技術は経営の基礎」の考えのもと、農業関係試験研究機関などの最新の研究成果や現場で役立つ実用化技術のポイントをまとめた「技術の窓」を毎月提供しています。

対象分野は、「**水稲・畑作物**」、「**野菜・花き・茶**」、「**果樹**」、「**畜産・家畜衛生**」、「**機械化営農**」、「**食品**」の各分野です。



「技術の窓」のバックナンバーは、
日本政策金融公庫農林水産事業ホームページ
「お役立ち情報」をクリック！
「最新技術情報」でご覧ください

<http://www.afc.jfc.go.jp/information/technology.html>



技術の窓 No.1581

H 20.12.25

クラウン温度制御による イチゴの高品質安定生産技術の開発

イチゴの促成栽培において、高設栽培装置は軽劣化と省力化に貢献しながらも、高い導入コストが普及促進のネックとなっており、収益向上のための収量増や品質向上、収穫の平準化と中休み解消等の技術開発が要望されていました。(独)農研機構九州沖縄農業研究センターでは、イチゴの生産上重要なクラウン部温度を低コストで高精度に制御できる温度制御装置を開発し、これを用いた高品質安定生産技術を開発しましたので、その成果の概要を紹介いたします。

☆ 技術の概要

1. 開発したクラウン温度制御装置は冷温水器と2連チューブから構成されています。2連チューブは材質が軟質塩ビで柔軟性をもち、クラウン部密着性・敷設作業が容易です。また、一体往復管構造で熱損失が低減でき、高温期には冷水、低温期には温水を往復通水することで精度良く温度制御が可能です。
2. クラウン温度制御部はヒートポンプ方式の冷却・加温兼用タイプで、冷却能力は7.0kW、加熱能力は6.7kW、10a当たりの初期導入コストは約200万円(6年の減価償却)、促成栽培でのランニングコストは約34千円/月となります。
3. 短日夜冷等の花芽分化処理育苗を行う早出し促成栽培において、9月上旬の定植直後からクラウン部温度を20℃前後で管理すると、第一次腋果房の分化・生育の早進化によって収穫の中休みが短縮され、2月末日までの早期収量が大きく増加します。さらに、10月下旬以降の低温期には葉や果房の展開速度は速まり、収穫が平準化します。そのうえ、厳冬期には夜間のハウス内管理温度を下げることができ、暖房用燃料も削減できます。
4. 高温期の定植後からクラウン部を冷却すると、果実の瘦果数が増え、果実肥大が優れます。



図1 クラウン温度制御のための2連チューブ

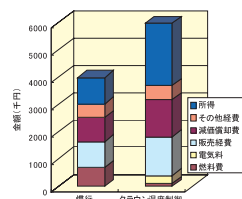


図2 10a当たりの経営収支試算

日本政策金融公庫農林水産事業では、「技術の窓」での最新技術の情報提供のほか、お客さまからの技術に関するご相談への専門家派遣や、研修会などへの講師派遣を行い、お客さまの経営を技術面からも支援しています。

新たな無利子制度の創設

燃油や家畜飼料、肥料などが高騰する中、農業者のみなさまがコスト削減に向けて省エネ関連設備等を導入しやすくなるよう、必要な資金について、農林漁業セーフティネット資金（農業）およびスーパーL資金に新たな無利子制度を設けました。

農林漁業セーフティネット資金（農業）の省エネ無利子化措置

平成22年3月31日までに貸付決定を受けた案件であって、次にあてはまる場合には、省エネ無利子化措置の適用により、実質無利子^(注)でご利用いただけます。

(注) 農林水産長期金融協会からの利子助成により、お客さまの利子負担を無利子まで引下げる措置です。

ご利用いただける方

- 認定農業者（農業経営改善計画を作成して市町村長の認定を受けた個人・法人）
- 認定就農者（就農計画を作成して都道府県知事の認定を受けた個人・法人）
- 集落営農組織（一定の要件を満たす必要があります）

ご利用いただける要件

- 次のいずれにも該当すること
 - (1) 次のような状況に置かれていること
 - ① 最近の決算期における粗収益が前期より10%以上減少していること、または最近3カ月の粗収益が前年同期を下回り、かつ今後も減少が見込まれること。
 - ② 最近の決算期における所得率又は純利益額が前期より悪化していること。
 - ③ 売掛金等債権の回収条件、買掛金等債務の支払条件その他の取引条件が悪化していること。
 - (2) 省エネ関連設備の導入などの補助事業を活用し省エネ型の経営体質への転換に取り組んでいること、もしくは制度資金等を活用して省エネ設備を導入するなど、独自にコスト低減に取り組んでいること、または今後取り組もうとしていること。

ご利用限度額

- 一般……300万円
- 特認……年間経営費等の3/12以内
(簿記記帳を行っており特に必要と認められる場合)
なお、償還期限は10年以内（うち据置期間3年以内）です。

ご留意いただきたい事項

- 本措置は取扱額に限りがあり、資金の使いみちやご融資の実行の時期等によっては、ご希望に添えない場合がございます。
- 審査の結果により、ご希望に添えない場合がございます。また、上記以外にも資金をご利用いただくための要件などがございますので、詳しくは、最寄りの日本政策金融公庫支店（農林水産事業）までお問合せください。

農林漁業セーフティネット資金（省エネ無利子化措置）の活用例

農林漁業セーフティネット資金の省エネ無利子化措置について活用例をご紹介します。

■ 酪農（個人Aさん）の活用例 ■

経営概要	営農類型…………酪農（搾乳） 経営規模……経産牛頭数 44 頭 農業粗収益……33,690 千円 農業所得……2,790 千円																																																
ご融資前の 経営状況	A さんは、父親の代から酪農経営をしています。現在の経産牛頭数は 44 頭と、地域では中規模の酪農家です。生乳は地元の酪農協に出荷しており、各種飼料や素牛についても酪農協を通じて購入しています。 しかしながら、平成 19 年以降の飼料価格の上昇による影響で飼料代は上昇を続け、平成 20 年に入り、さらに飼料価格が高騰したことにより、平成 20 年 12 月の農業所得は 2,790 千円と前年から 1,490 千円減少する結果となりました。また、減収による資金不足によって、経営規模の維持に必要な素牛の購入費を捻出することができず、経産牛頭数は前年から 4 頭減少し、経営規模の縮小を余儀なくされている状況でした。																																																
ご融資後の 経営状況	A さんは、経営規模の維持を目的に、酪農協から紹介を受けた公庫に、素牛購入のための資金の相談をしたところ、省エネ無利子化措置が創設された農林漁業セーフティネット資金の利用を勧められました。 A さんは、この機会にコスト低減に向けた取り組みとして、乳飼比の低減を目的に自家配合している各種飼料の配合割合を見直すこととし、農林漁業セーフティネット資金 3,000 千円を借り入れました。A さんは、この 3,000 千円のうち 1,600 千円で素牛 4 頭を購入、残額 1,400 千円を前年からの減収補填に充てました。この結果、A さんの経営規模は飼料価格の高騰前の状態に回復しました。また、今回の農林漁業セーフティネット資金の返済期限は 4 年の長期であり、当面の資金繰りの安定にも寄与しています。																																																
A さんの 決算状況の推移	（金額単位：千円） <table><tr><th>決算期</th><th colspan="2">H18 / 12</th><th colspan="2">H19 / 12</th><th colspan="2">H20 / 12</th></tr><tr><td>農業粗収益</td><td>37,600</td><td>—</td><td>37,100</td><td>—</td><td>33,690</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="2">経営費</td><td>32,450</td><td>86%</td><td>32,820</td><td>88%</td><td>30,900</td><td>92%</td></tr><tr><td>うち飼料代</td><td>15,340</td><td>41%</td><td>15,980</td><td>43%</td><td>16,170</td><td>48%</td></tr><tr><td>農業所得</td><td>5,150</td><td>14%</td><td>4,280</td><td>12%</td><td>2,790</td><td>8%</td></tr><tr><td>経産牛頭数</td><td colspan="2">48 頭</td><td colspan="2">48 頭</td><td colspan="2">44 頭</td></tr></table> ※各項目の％はそれぞれ各期の売上高に対するもの。							決算期	H18 / 12		H19 / 12		H20 / 12		農業粗収益	37,600	—	37,100	—	33,690	—	経営費	32,450	86%	32,820	88%	30,900	92%	うち飼料代	15,340	41%	15,980	43%	16,170	48%	農業所得	5,150	14%	4,280	12%	2,790	8%	経産牛頭数	48 頭		48 頭		44 頭	
決算期	H18 / 12		H19 / 12		H20 / 12																																												
農業粗収益	37,600	—	37,100	—	33,690	—																																											
経営費	32,450	86%	32,820	88%	30,900	92%																																											
	うち飼料代	15,340	41%	15,980	43%	16,170	48%																																										
農業所得	5,150	14%	4,280	12%	2,790	8%																																											
経産牛頭数	48 頭		48 頭		44 頭																																												

■ 施設野菜（B社）の活用例 ■

経営概要	法人設立……平成 14 年 8 月 営農類型……イチゴ（ハウス） 売上高………36,700 千円	資本金……3,000 千円 施設面積……4,200 ㎡ 経常利益……14,800 千円																																										
ご融資前の 経営状況	Bさんの会社は平成 14 年 8 月に家族経営から有限会社へと移行。県内特産品であるブランドイチゴのハウス栽培を行っています。販売先は地元JAが主体ですが、平成 17 年にスーパー L 資金を利用してハウスの増設を行って以来、インターネットなどを活用した直売にも力を注いできました。 このブランドイチゴについては、県が積極的に特産品のPRを行っていることも手伝って全国的に知名度が上昇しており、主に贈答品向けの需要が拡大しています。Bさんの会社も順調に売上高を拡大しており、今期さらなるハウスの増設を計画していたところです。 しかしながら、平成 19 年度に入り、ハウスの保温に必要な重油や、肥料価格の上昇の影響を大きく受けるようになり、平成 20 年 6 月期の決算では、売上高こそ前期の 35,500 千円から 1,200 千円増加したものの、経常利益は 14,800 千円と前期の 15,600 千円から 800 千円減少する結果となってしまいました。																																											
ご融資後の 経営状況	Bさんはさらなるハウスの増設を計画していましたが、農林漁業セーフティネット資金に省エネ無利子化措置が創設されたことを知り、ハウス増設計画をひとまず棚上げし、既存ハウスの自動カーテン装置の更新による燃油費等の抑制を優先させることとしました。 Bさんは農林漁業セーフティネット資金を 7,000 千円借入れて、減収補填と、自動カーテン装置の更新をあわせて実施しました。 この結果、今冬の保温用重油の使用量は前期の 80％程度に抑えられているほか、太陽光の透過性に優れた被覆材を導入したことによりハウス内の栽培環境が向上し、単収の 10％増加につながりました。																																											
B 社の 決算状況の推移	(金額単位：千円) <table><tr><th>決算期</th><th colspan="2">H19 / 8</th><th colspan="2">H20 / 8</th><th colspan="2">H21 / 8 (見込)</th></tr><tr><td>売上高</td><td>35,500</td><td>—</td><td>36,700</td><td>—</td><td>40,370</td><td>—</td></tr><tr><td>経営費</td><td>19,900</td><td>56%</td><td>21,900</td><td>60%</td><td>22,670</td><td>56%</td></tr><tr><td>うち燃料費</td><td>2,165</td><td>6%</td><td>3,246</td><td>9%</td><td>2,856</td><td>7%</td></tr><tr><td>うち肥料費</td><td>745</td><td>2%</td><td>863</td><td>2%</td><td>873</td><td>2%</td></tr><tr><td>経常利益</td><td>15,600</td><td>44%</td><td>14,800</td><td>40%</td><td>17,700</td><td>44%</td></tr></table> ※各項目の％はそれぞれ各期の売上高に対するもの。		決算期	H19 / 8		H20 / 8		H21 / 8 (見込)		売上高	35,500	—	36,700	—	40,370	—	経営費	19,900	56%	21,900	60%	22,670	56%	うち燃料費	2,165	6%	3,246	9%	2,856	7%	うち肥料費	745	2%	863	2%	873	2%	経常利益	15,600	44%	14,800	40%	17,700	44%
決算期	H19 / 8		H20 / 8		H21 / 8 (見込)																																							
売上高	35,500	—	36,700	—	40,370	—																																						
経営費	19,900	56%	21,900	60%	22,670	56%																																						
うち燃料費	2,165	6%	3,246	9%	2,856	7%																																						
うち肥料費	745	2%	863	2%	873	2%																																						
経常利益	15,600	44%	14,800	40%	17,700	44%																																						

スーパー L 資金の省エネ無利子化措置

平成22年3月31日までに貸付決定を受けた案件であって、次にあてはまる場合には、省エネ無利子化措置の適用により、実質無利子^(注)でご利用いただけます。

(注) 全国農業会議所等からの利子助成により、お客さまの利子負担を無利子まで引下げる措置です。なお、都道府県、市町村の利子助成の条件などによっては、無利子とならない場合がございます。

ご利用いただける方

- **認定農業者**（農業経営改善計画を作成して市町村長の認定を受けた個人・法人）
なお、個人の場合、簿記記帳を行っていること、または今後簿記記帳を行うことが要件となります。

ご利用いただける要件

スーパー L 資金をご利用の際に作成していただく「経営改善資金計画」において、目標年までに経費率を5%引下げることが確実と見込まれること。

ご利用限度額

- **個人……1億円／法人……3億円**
ただし、それぞれ500万円以下のご利用は対象となりません。また、償還期限は25年以内（うち据置期間10年以内）です。

資金の使いみち

ヒートポンプやハウスの被覆材といった省エネ関連設備の購入費などにご利用いただけます。
ただし、国庫補助事業の補助残部分をご融資の対象とする場合、円滑化貸付制度（無担保・無保証人）をご利用いただく場合、経営の安定化を目的として負債の整理をする場合などは、本措置をご利用いただけません。

ご留意いただきたい事項

- 本措置は取扱額に限りがあり、資金の使いみちやご融資の実行の時期などによっては、ご希望に添えない場合がございます。
- 本措置にあわせて、平成19年度から実施している従来の無利子化措置についても、平成21年4月1日以降に貸付決定を受けた案件については、国庫補助事業の補助残部分をご融資の対象とする場合、円滑化貸付制度（無担保・無保証人）をご利用いただく場合は、無利子化措置の対象外となります。
- 審査の結果により、ご希望に添えない場合がございます。また、上記以外にも資金をご利用いただくための要件などがございますので、詳しくは、最寄りの日本政策金融公庫支店（農林水産事業）までお問合せください。

もっと
身近に!

全国で定期相談窓口を開催中

～お気軽にご利用ください～

日本政策金融公庫 農林水産事業では、皆さまのお近くの施設でご融資に関する定期相談窓口を開催しています。

定期相談窓口の開催、時間などについては、都合により変更する場合がございます。事前に裏面の各支店までお問い合わせください。

定期相談窓口設置場所

(H21.1.30現在)

都道府県	相談窓口設置場所	曜日	時間	都道府県	相談窓口設置場所	曜日	時間
青森	五所川原市中央公民館	第2・4水曜日	13:00～16:00	福島	日本政策金融公庫 郡山支店	第4火曜日	11:00～14:00
岩手	久慈地方振興局	月1回	13:00～16:00		福島県酪農協同組合本店 (本宮)	第3木曜日	11:00～14:00
	宮古地方振興局	月1回	13:00～16:00		JA そうま本店	第4水曜日	11:00～14:00
	釜石地方振興局	月1回	13:00～16:00		JAふたば北部 営農センター	第3水曜日	11:00～14:00
	大船渡地方振興局	月1回	9:00～12:00		JAいわき市本店	第2水曜日	11:00～14:00
	二戸地方振興局	月1回	13:00～16:00		会津農業共済組合	第2・4木曜日	13:00～16:00
	盛岡地方振興局	月1回	13:00～16:00		県南地方総合事務所	第2・4水曜日	13:00～16:00
	県南広域振興局花巻 総合支局	月1回	13:00～16:00	茨城	鹿行地方総合事務所	第2・4水曜日	13:00～16:00
	県南広域振興局	月1回	13:00～16:00		県西地方総合事務所	第2・4金曜日	13:00～16:00
	日本政策金融公庫 一関支店	月1回	13:00～16:00		常陸太田地域農業改良 普及センター	第2・4火曜日	13:00～16:00
宮城	登米市中田農村環境 改善センター	第1水曜日	10:00～12:00	栃木	那須塩原市役所	第2・4木曜日	13:00～16:00
	JAみやぎ登米 南方支店	第3水曜日	10:00～12:00	群馬	吾妻県民局	第1・3木曜日	13:00～16:00
	JAいわでやま	第1木曜日	12:00～14:00		利根沼田県民局	第1・3水曜日	13:00～16:00
	JAあさひな	第2火曜日	13:00～15:00		西部県民局	第2・4火曜日	13:00～16:00
	JAみやぎ亘理	第1木曜日	13:00～15:00	千葉	東部県民局	第2・4水曜日	13:00～16:00
	JAみやぎ仙南	第2水曜日	13:00～14:30		旭市役所干潟支所	第1・3木曜日	9:30～16:30
	JA加美よつば	第2木曜日	12:00～14:00		匝瑳市民ふれあい センター	第2・4水曜日	13:00～16:00
	JA栗っこ	第3水曜日	12:00～14:00	神奈川	銚子市役所相談センター	第2金曜日	13:00～16:00
	JAいしのまき	第3木曜日	13:00～14:30		JA三浦市 初声会議室	第3火曜日	11:00～14:00
	JA古川	第4水曜日	10:00～15:00		JAさがみ 総合経済 センター (御所見支店)	奇数月 第3木曜日	12:00～15:00
秋田	JA秋田おばこ	毎月最終週	13:00～16:00	新潟	JA湘南 経済センター 西棟	偶数月 第3水曜日	11:00～14:00
	JA秋田しんせい	毎月最終週	13:00～16:00		上越地域振興局	第1・3木曜日	13:30～16:30
	JAこまち	毎月最終週	13:00～16:00	富山	柏崎地域振興局	第1・3水曜日	13:30～16:00
	JA秋田ふるさと	毎月最終週	13:00～16:00		砺波体育センター 2階研修室	毎週火曜日	10:00～13:00
	東北銀行鹿角支店	隔月	未定	石川	入善町中央公民館	第2・4木曜日	13:00～16:00
	JA大潟村	第2金曜日	13:00～16:00		加賀農林事務所	第3水曜日	13:00～16:00
山形	土地改良事業団体連合会 庄内支所	毎週木曜日	13:00～16:00		奥能登農林総合事務所	第2水曜日	13:00～16:00
	土地改良事業団体連合会 置賜支所	第2・4火曜日	13:00～16:00				

都道府県	相談窓口設置場所	曜日	時間
山梨	笛吹市春日居あぐり情報ステーション	毎週木曜日	15:00～17:00
	北杜市役所明野総合支所	第1・3・5水曜日	15:00～17:00
	南アルプス市高度農業情報センター	第2・4水曜日	15:00～17:00
長野	日本政策金融公庫小諸支店	月1回	13:00～15:00
	日本政策金融公庫松本支店	月1回	13:00～15:00
	日本政策金融公庫伊那支店	月1回	13:00～15:00
岐阜	高山市役所 丹生川支所	第2・4水曜日	12:00～16:00
	中津川市役所	第1・3水曜日	12:00～16:00
静岡	富士宮市役所	第4火曜日	10:00～12:00
	富士開拓農協	第4火曜日	13:00～15:00
	JAとびあ浜松 大久保支店	第3水曜日	10:00～12:00
	JA遠州中央園芸流通センター	第3水曜日	14:00～16:00
	JAハイナン茶ぐりん牧之原	第2水曜日	10:00～12:00
	JA遠州夢咲大坂支店	第2水曜日	14:00～16:00
三重	日本政策金融公庫四日市支店	第1・3水曜日	10:00～15:00
滋賀	高島地域担い手支援協議会	第4水曜日	10:00～16:00
	甲賀地域担い手支援協議会	第3水曜日	10:00～16:00
	東近江地域担い手支援協議会	第2水曜日	10:00～16:00
	湖東地域担い手支援協議会	月1回土曜日	未定
	日本政策金融公庫彦根支店	第2木曜日	10:00～16:00
兵庫	日本政策金融公庫豊岡支店	第3木曜日	13:30～16:00
	日本政策金融公庫姫路支店	第3火曜日	13:30～16:00
	淡路市立中央公民館 しづのおだまき館	第3水曜日	13:30～16:00
和歌山	日本政策金融公庫田辺支店	第1・3水曜日	13:00～16:00
鳥取	鳥取県西部総合事務所	第2・4火曜日	13:00～16:00
	鳥取県中部総合事務所	第1・3火曜日	13:00～16:00
島根	JAいずも本店	第2水曜日	15:00～17:00
	島根県西部農林振興センター	第4金曜日	10:00～12:00

都道府県	相談窓口設置場所	曜日	時間
島根	島根県西部農林振興センター益田事務所	第4木曜日	14:00～17:00
	JA雲南本店	月1回	15:00～17:00
岡山	おかやま酪農業協同組合本所	第4週の火曜日	10:00～15:00
	真庭市蒜山振興局	第2週の木曜日	10:00～15:00
	備中県民局井笠支局	第3週の木曜日	10:00～15:00
	備中県民局新見支局	第3週の火曜日	10:00～15:00
広島	JA三次本店	第1、第3水曜日	13:00～16:00
	JA庄原本店	第1、第3木曜日	10:00～14:00
	日本政策金融公庫福山支店	第2金曜日	13:00～16:00
山口	JA下関	第1・3水曜日	13:00～16:00
	萩市役所市民館	第2・4火曜日	13:00～16:00
	JA周南	第4木曜日	13:00～16:00
徳島	吉野川合同庁舎2階	毎週火曜日	13:00～17:00
香川	西讃農業改良普及センター	第3火曜日	13:30～16:00
	中讃農業改良普及センター	第3木曜日	13:30～16:00
愛媛	JAえひめ南本店	隔月	13:00～16:00
	愛南町農業支援センター	隔月	13:00～16:00
高知	JA高知はた	第4木曜日	13:00～17:00
福岡	JAふくおか八女	隔月	未定
	JA糸島	第2水曜日	13:00～15:00
佐賀	JAさが白石地区統括支所営農センター	毎週水曜日	13:30～16:30
長崎	県央農業改良普及センター	第2火曜日	13:30～16:30
	島原農業改良普及センター	第2水曜日	13:30～15:30
	県北農業改良普及センター	第2木曜日	13:30～15:30
大分	日田総合庁舎	第3水曜日	10:00～16:00
	宇佐総合庁舎	月1回	13:00～16:00
宮崎	北諸県農業改良普及センター	第2水曜日	10:30～15:00
	児湯農業改良普及センター	隔月 第4水曜日	10:30～15:00
鹿児島	日本政策金融公庫鹿屋支店	第2・4火・水曜日	火 13～15 水 9～12

資金のご利用や経営に関するお問い合わせ・ご相談は、お近くの窓口またはホームページ(www.afc.jfc.go.jp)にお気軽にどうぞ

支店名	郵便番号/住所	代表電話番号	フリーコール
札幌支店	060-0004 札幌市中央区北四条西5-1 アスティ 45ビル9階	011-251-1261	0120-911486
帯広支店	080-0013 帯広市西3条南6-2	0155-27-4011	0120-926472
北見支店	090-0036 北見市幸町1-2-22	0157-61-8212	0120-926474
青森支店	030-0861 青森市長島1-4-2	017-777-4211	0120-911495
盛岡支店	020-0021 盛岡市中央通2-2-5 住友生命ビル6階	019-653-5121	0120-911539
仙台支店	980-6011 仙台市青葉区中央4-6-1 住友生命仙台中央ビル11階	022-221-2331	0120-911547
秋田支店	010-0001 秋田市中通1-2-26 秋田農林ビル4階	018-833-8247	0120-911498
山形支店	990-0039 山形市香澄町3-1-7 朝日生命山形ビル5階	023-625-6135	0120-926485
福島支店	960-8041 福島市大町1-16	024-521-3328	0120-959046
水戸支店	310-0026 水戸市泉町1-2-4 水戸泉町第一生命ビル7階	029-232-3623	0120-926427
宇都宮支店	320-0026 宇都宮市馬場通り1-1-11 宇都宮TDビル3階	028-622-9195	0120-959042
前橋支店	371-0023 前橋市本町1-6-19	027-243-6061	0120-926481
さいたま支店	330-0854 さいたま市大宮区宮町1-109-1 大宮宮町ビル5・6階	048-645-5421	0120-911564
千葉支店	260-0013 千葉市中央区中央4-13-9	043-227-4435	0120-926471
東京支店	100-0004 千代田区大手町1-8-2 新公庫ビル2階	03-3270-9791	0120-911624 0120-911953
横浜支店	220-0022 横浜市西区花咲町7-150 ウェインズ&イッセイ横浜ビル3階	045-319-0825	0120-959013
新潟支店	951-8113 新潟市中央区寄居町344-1 新潟農林ビル4階	025-222-6151	0120-911576
富山支店	930-0004 富山市桜橋通り2-25 富山第一生命ビル2階	076-441-8411	0120-959043
金沢支店	920-0919 金沢市南町6-1 朝日生命金沢ビル5階	076-263-6471	0120-911632
福井支店	918-8004 福井市西木田2-8-1 福井商工会議所ビル3階	0776-33-2385	0120-926473
甲府支店	400-0031 甲府市丸の内2-30-2 甲府第一生命ビル6階	055-228-2182	0120-926482
長野支店	380-0836 長野市南県町1081 長野東京海上日動ビル5階	026-227-8900	0120-911598
岐阜支店	500-8847 岐阜市金宝町1-3 岐阜第一生命ビル2階	058-264-4855	0120-926483
静岡支店	422-8067 静岡市駿河区南町18-1 サウスボット静岡5階	054-286-0233	0120-959041
名古屋支店	450-0002 名古屋市中村区名駅3-25-9 堀内ビル6階	052-582-0741	0120-911658
津支店	514-0021 津市万町津133	059-229-5750	0120-959014
大津支店	520-0047 大津市浜大津1-2-28	077-525-7195	0120-959044
京都支店	600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20 四条烏丸F.Tスクエア9階	075-221-2147	0120-911683
大阪支店	530-0057 大阪市北区曽根崎2-3-5 梅新第一生命ビル8階	06-6131-0750	0120-911689
神戸支店	650-0023 神戸市中央区栄町通5-2-19	078-362-8451	0120-959015
奈良支店	630-8253 奈良市内侍原町51-1	0742-26-8781	0120-926457
和歌山支店	640-8158 和歌山市十二番丁58	073-423-0644	0120-926425
鳥取支店	680-0834 鳥取市永楽温泉町271 朝日生命鳥取ビル5階	0857-20-2151	0120-926437
松江支店	690-0887 松江市殿町111 松江センチュリービル7階	0852-26-1133	0120-911691
岡山支店	700-0826 岡山市磨屋町9-18-401 岡山県農業会館4階	086-232-3611	0120-911694
広島支店	730-0042 広島市中区国泰寺町2-3-20	082-249-9152	0120-959016
山口支店	753-0074 山口市中央5-2-47	083-922-2140	0120-926475
徳島支店	770-0856 徳島市中洲町1-58	088-656-6880	0120-926495
高松支店	760-0023 高松市寿町2-2-7 CO!高松ビル3階	087-851-2880	0120-911698
松山支店	790-0011 松山市千舟町4-5-4 松山千舟454ビル6階	089-933-3371	0120-911695
高知支店	780-0834 高知市堺町2-26 高知中央第一生命ビル3階	088-825-1091	0120-911927
福岡支店	810-0001 福岡市中央区天神4-2-20 天神幸ビル7階	092-751-5736	0120-911706
佐賀支店	840-0801 佐賀市駅前中央1-5-10 朝日生命佐賀駅前ビル8階	0952-27-4120	0120-959045
長崎支店	850-0033 長崎市万才町6-38 明治安田生命長崎ビル7階	095-824-6221	0120-911739
熊本支店	860-0842 熊本市南千反畑町2-6	096-353-3104	0120-911724
大分支店	870-0034 大分市都町2-1-12	097-532-8491	0120-959017
宮崎支店	880-0812 宮崎市高千穂通1-6-38 ニッセイ宮崎ビル5階	0985-29-6811	0120-373055
鹿児島支店	890-0053 鹿児島市東千石町1-38 鹿児島商工会議所ビル(アイムビル)9階	099-805-0511	0120-911725
本店	100-0004 千代田区大手町1-9-3 公庫ビル(農林水産事業)	03-3270-4115	0120-926478 (農林漁業者、食品企業専用)

アグリ・フードサポート (2009.3)

制作 ㈱日本政策金融公庫 農林水産事業
情報戦略部 報道課

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-3 公庫ビル
TEL 03-3270-2272
URL <http://www.afc.jfc.go.jp/>